



教育委員コラム

発行元
弟子屈町教育委員会
教育長 小林 俊夫
職務代理 小澤 重
委員 榎本 悦子
委員 菅原 誓之
委員 金井 秀明



弟子屈町教育委員会
〒088-3292 北海道川上郡弟子屈町中央2丁目3番1号 弟子屈町役場
電話:015-482-2945 HP:<http://www.town.teshikaga.hokkaido.jp/>

教育委員リレーコラム

第54回北海道市町村教育委員研修会に参加して

委員 菅原 誓之

毎年7月中旬に開催される北海道市町村教育委員研修会が、去る7月11日に札幌市教育文化会館にて第54回として行われた。当日は全道各地より700名を超える教育委員と教育関係者で会場はほぼ満席状態でした。

午前の部では、開会式にて北海道市町村教育連合会長の豊島滋様より開会挨拶を頂き、その後、来賓祝辞として北海道教育委員会委員の鶴羽佳子様からも祝辞を頂戴しました。また引き続き功労者表彰が行われ、役職退任者や12年以上の在職者（計33名）が表彰され、代表者が登壇し受賞されました。この受賞者には私ども弟子屈町教育委員会の小林教育長と榎本委員も12年以上の在職者として受賞され、長年の功労を肌で感じた事でした。



開会式終了後、演題「こども家庭相談の現状と課題」と題し、北海道中央児童相談所長の阿部康子様から講話を頂きました。内容としては、今現在における児童相談の数や状況、児童虐待の具体的内容（身体的虐待・性的虐待・ネグレクト・心理的虐待）などの現状や課題。また、実際の虐待対応事例として、北海道中央児童相談所の一時保護の子供達の様子などもお話頂き、実際に苦しみ悩む子供達が居るという現状を目の当たりにし、驚くと共に心が痛くなる思いを会場全体が共感致しました。

午後の部からは、文部科学省行政説明として「グローバル化に対応した英語教育の推進について」という事で、文部科学省 初等中等教育局 国際教育課長の小幡泰弘様から、英語教育改革の動向について講演がありました。ご存知の通り、平成32年度から全面実施される、小学校5年生からの英語科の必須化を目前とし、今ある現状と課題や学習指導要領改訂の方向性をお話頂きました。具体的には「育成を目指す資質・能力の三つの柱」として『知識・技能』という面で「何を理解しているか・何ができるか」。『思考力・判断力・表現力等』という面では「理解していること・できることをどう使うか」。『学びに向かう力・人間性等』という面では「どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか」という三本柱が示され、まさに「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能をバランス良く育成するという点も教示頂きました。しかしそれに伴い、学校教職員の英語能力資質向上という点でも課題がなされ、今後の先生方の苦勞が伺えました。

最後のフォーラム事例発表では、①夕張市教育委員会『高校存続の危機が魅力化活動に転じるまで』～行政と学校が連携して危機に立ち向かう～。②白老町教育委員会『ふるさと教育の充実を目指して』～国立アイヌ民族博物館の活用に向けた事業展開～。③広尾町教育委員会『子ども農山漁村交流から始める新たな教育の取組について』とそれぞれ題し、各市町村教育委員会が推し進める事業発表を3名の教育長より報告頂きました。



どの市町村も少子化問題や学校存続問題、社会教育の重要性など…。我が弟子屈町の今後の課題と重なる部分を思いめぐらせて頂きました。昨年は参加する事が出来なかった研修会でしたが、本年の研修会を受け、北海道各地全体が未来の子供達に対する「教育」（おしえはぐくむ）という事を前提に、一丸となって進んでいる事にほかならない事を感じた研修会でした。

（次回のリレーコラムは金井委員です。）

教育あっちこっち情報



第40回川湯中学校体育大会

教育委員 金井 秀明

7月15日(土)に第40回体育大会が川湯中学校で行われました。この日は非常に暑くなった日で、朝9時の時点で26℃でした。そんな中、生徒と先生達は元気いっぱい、体育大会がスタートしました。開会式のあいさつの中で「中止も考えました」との言葉が出ました。雨が降ってきて中止は当たり前ですが、晴天過ぎて中止の検討も珍しいことです。しかし当日はそのくらい暑い日でした。一つ目の競技が終わり、次の競技までのクールダウン時、直射日光の当たるグラウンドで気温を計ってみました。何と39℃!周りの人が聞かなくちゃ良かったと言うほどです。しかし若い生徒と先生達(あまり若くもない先生も)は暑い日差しの中、太陽に負けにくいくらい輝いていました。



「弟子屈小学校運動会」

教育委員 菅原 誓之

6月18日に弟小にて運動会が開催されました。朝は肌寒さを感じましたが、徐々に晴れ間も見え、子供達や観覧者には心地の良い運動会となりました。年々1学級の学年も増え、競技運営には苦労があったと思いますが、工夫されていたと思います。中でも、今年初めて行われた「借りに行こうよ!」では、「様々な特徴の人」が書かれたカードを子供達が引き、会場から連れてくるという競技でした。カードには「メガネをかけた人」や「弟子屈小学校卒業生」や「消防士さん」など色々です。その中にはなんと「お坊さん!」私も急いで連れて行かれ、思い出の運動会でした。



川湯小学校の運動会に参加しました

教育委員 榎本 悦子

6月17日は、町内の多くの小学校で運動会が開催されましたが、夏を思わせるような日差しの運動会日和となりました。川湯保育園との合同運動会ですが、小学校に兄弟がいる為か2才、3才の園児達も臆することなく可愛い姿で競技をしていました。応援席にいる家族も、祖父母や家族の友人までいて近所の子の競技も楽しむという昔ながらの運動会風景でした。私の家でも娘婿がベトナムから帰国し、そのお母さんが八戸から見に来てくれて賑やかな運動会となりました。運動会、学芸会などに多くの人に参加し、皆で子供達の成長を見守る地域であってほしいと思いました。



「第1回NEW SOUNDS CONCERT」開催

教育長 小林 俊夫

6月25日午後1時から新たな第1回目のコンサートが摩周観光文化センターで開催されました。この新コンサートは、弟高吹奏楽部から3校合同による演奏会開催の提案があったことがきっかけになったようです。

出演したのは、加賀谷先生の指揮のもと、弟小吹奏楽少年団20名3曲、弟高吹奏楽部16名4曲、川上シンフォニアウィンドアンサンブル17名2曲を演奏し、また、弟子屈中学校吹奏楽部は草野美来先生指揮のもと3曲を披露しました。最後に4団体総勢71名による迫力ある演奏が披露され、詰め掛けた120名の皆さんから大きな拍手が送られていました。

文化センターは、町内の他の会場と異なり、コンサート用の反響版が設置されているなど設備が整っているため、素晴らしい響きを堪能することが出来ました。



「移動教育委員会」

職務代理 小澤 重

6月28日(水)弟子屈小学校を訪問して行われました。恒例ですが、教職員の皆さん全員と教育委員・教育委員会職員との自己紹介は、数少ない直接会話の瞬間です。定例教育委員会会議終了後、公開授業の参観を致しました。今回は、1年生・5年生・6年生は、算数の授業・2年生は、図工・4年生は、体育館で体育の授業・(3年生は、校外学習で屈斜路の農家見学授業)PTA・学校との懇談会では、佐野校長先生の学校概要説明により、今年度のめざす子供の姿の中の“挨拶したり感謝の心”や教職員のめざす姿の“情熱を持って教育にあたる”は、私達地域も目標とする姿です。見習うことが沢山ありました。校長先生を中心に教職員の皆さんが協働して子供達の為にご尽力頂きます様お願いいたします。大変お世話になり有難うございました。



★ ★ 編集後記 ★ ★

いよいよ夏休みも始まりました。子供達も外出する機会や、外で遊ぶ事も多くなっています。

しかし、近年は猛暑日や局地的豪雨など、急な天候変化により危険がいっぱいです。地域みんなで声掛けをして、子供達を見守っていきたいものです。

(菅原)